

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

■ 計画 ■ 事業化 事業 ■ 管理

政策名	1 グローバルロジスティクスの港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 事業担当課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化		事務事業	成果	コスト		
個別施策名	01 次世代高規格コンテナターミナルを形成する		継続	維持	維持	連絡先	052-654-7921
事務事業名	06 飛島ふ頭南側コンテナターミナル整備事業					連携課	
目的	飛島ふ頭南側コンテナターミナル第1バース(岸壁)を整備し、基幹航路において大型化するコンテナ船を安全かつ効率的に受け入れます。					事業期間	平成14~26年度
概要	整備場所:愛知県海部郡飛島村(飛島ふ頭) 内容・規模:整備主体である国土交通省との予算及び工程管理に関する協議(延長400m、水深-16m) 総事業費:約200億円 事業手法:直轄事業					根拠法令等	社会資本整備重点計画法 名古屋港湾計画
事業着手時点の評価	増加する大型コンテナ船を安全かつ効率的に受け入れることにより、名古屋港の国際競争力が向上し、輸送の効率化により、輸送コストが削減されます。費用対効果については、飛島ふ頭南地区コンテナターミナル整備事業全体にて算出しており、費用対効果(B/C)は6.8です。					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	引き続き、岸壁未施工部分に関する国との協議を進めるとともに、関係者調整を行う予定です。					関連シート	個01事03「飛島ふ頭南側コンテナターミナル第1バース(岸壁)整備事業」、個01事05「飛島ふ頭南側コンテナターミナル(航路泊地)整備事業」をこの事務事業に整理統合しました。

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	岸壁未施工部分について国との協議を行いました。							
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)	
総事業費計	千円	178,158	127,442	46,892	15,000	12,000	(款項目節) 歳出:建設費/整備費/直轄事業負担金/負担金、補助金及び交付金	
国費	直轄	千円	118,772	84,961	31,261	10,000	8,000	(算出計算式) 本組合の負担割合は、総事業費の3分の1
		千円	59,386	42,481	15,631	5,000	4,000	
人員費相当額計	千円	2,456	2,403	2,375	1,724	1,307	(その他) 事業費については最終確定額ではありません。	
正規職員	人	0.28	0.28	0.28	0.20	0.15		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計(国費除く)	千円	61,842	44,884	18,006	6,724	5,307		

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	最終目標	26	備考(指標の算定方法)
事業進捗率(%)	目標	3.0	5.1	0.3	0.1	0.1	(累計)100		事業進捗率(目標・実績)は、総事業費を100とした事業費(当初予算額)の割合です。 各年度の達成率は、決算額(実績)÷当初予算額(目標)×100で算出しています。
	実績	0.9	0.6	0.2	0.1	0.1			
	達成率(単年度%)	29.7	12.5	78.2	100.0	100.0			
	達成率(累計%)	82.8	83.4	83.7	83.7	83.8			
事業進捗率、達成率の補足説明									

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			関係者調整の遅れから事業が進展していないが、目標年度に向けて進める必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
引き続き、事業の進捗に努めていきます。				